

Long COVID での嗅覚障害の中医治療：症例集積研究

A Case Series on the Use of Traditional Chinese Medicine

for Treating Olfactory Dysfunction in Long COVID

高資承^{*1}

^{*1}台湾山元式学会

Tzu Chen Kao^{*1}

^{*1}Chairman of YNSA Taiwan Branch

【 緒言 】

COVID-19 は、2019 年 12 月初旬中国・武漢市で第 1 例目の感染者が報告されてからわずか数カ月でパンデミックになるほど強力な感染症となった。主な症状は発熱、咳、倦怠感などで、罹患者数の三分の一に喘息が確認され、別症状として筋肉痛、頭痛、喉の痛み、下痢、嗅覚・味覚障害などが挙げられる。嗅覚障害は、気導性嗅覚障害、嗅神経性嗅覚障害と中枢性嗅覚障害と 3 つの病態に分類され、嗅覚経路のどこで障害が起こっているかによって治療方法が異なる。主な原因としてアレルギー性鼻炎、ウィルス感染、脳挫傷が挙げられる。治療方法として、西洋医学ではステロイドや嗅覚刺激療法があり、漢方医学では桂枝湯、荊防敗毒散や伝統鍼灸がある。本報告では、漢方医学と山元式新頭針療法(YNSA)の併用治療を用いた嗅覚障害の治療例を述べる。

【 方法 】

2022 年 7 月から 2024 年 2 月までの COVID-19 による嗅覚障害患者 9 名を対象とする。

- ・ 伝統鍼灸：迎香、上迎香、印堂
- ・ 漢方薬：桂枝湯、荊防敗毒散、銀翹散；加減：辛夷、魚腥草
- ・ YNSA 治療点は A 点、鼻点、大脳点、嗅神経点、三叉神経点、腎点、胃点

【 結果 】

- ・ 記述統計

気導性嗅覚障害：4 名、嗅神経性嗅覚障害：5 名；9 名の内男性 2 名、女性 7 名；平均年齢 46.67 歳、平均発症日数 92.33 日、平均治療回数 14.33 回、平均治療期間 77.11 日

- ・ 効果

無効：0 名、やや有効(一種のおいを感じられるようになった)：1 名、著効(二種以上のおいを感じられるようになった)：6 名、完治(全てのおいを感じられるようになる)：2 名。気導性嗅覚障害の完治：2 名

【 考察 】

COVID-19 後遺症による嗅覚障害は気導性が多い。統計に基づくと気導性は嗅神経性より回復が早い。従って、Long COVID での嗅覚障害には YNSA と漢方医学の併用治療が必要。併用治療は高い有効率を示す。

キーワード：気導性嗅覚障害、嗅神経性嗅覚障害、桂枝湯、銀翹散、山元式新頭針療法